

平成 29 年度 6 期生 卒業生

東京都市大学 等々力高校

卒業に寄せて ~noblesse obligeとグローバルリーダー~

校長 原田 豊

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業に寄せてメッセージを送ります。

皆さんが社会に出て活躍する時代は実に生きづらい社会だな、と最近今更のように感じています。

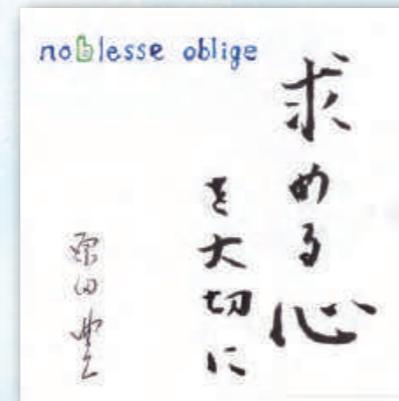
環境やエネルギーの問題、目前に迫っていると言われる首都直下型の震災問題、人口問題、格差社会の増大、不透明なAI及びIoT社会の将来、日本には無縁と思われていた戦争の問題までも現実味を帯びてきています。いずれも簡単には解決策を見つける大変な問題ですが、そんなことは全く無頓着であるかのような社会風潮が現代の若者の中に存在するとしたら、それこそ一番の危機だとも言えます。私が初めに言いたいのは、これからの大変な社会を生きる皆さんには、難問に直面しているのだという「覚悟」とそれら難問に対する解決策を必ず見つけてやるのだという「信念」いうものを心のどこかに持っていてもらいたいということです。

その上で二つのことをお話しをおきたいと思います。

一つは専門性を統合する総合力を身に付けよということです。難問の解答には専門の分野からだけのアプローチでは根本の解決にはならないことが多いのです。ですから、大学に進んで専門の勉強を極めていくと同時に、一方で全く違ったアプローチができるように、学問に対しては毛嫌いせず広く様々な知見を獲得するように努めてほしいと思います。

二つ目は何といっても、ノブレス・オブリージュの精神を忘れないということ。

ノブレス・オブリージュの基本は自分を恵まれたものと自覚し、その自覚に基づいて報恩の精神で学問を修め社会に貢献する



原田 豊 校長

ということです。その第一歩は「返事・挨拶・後始末」、二歩目は生きているこの時間を無駄にしないで環境を使い切り才能を磨き切ること、そう、「TQの精神を忘れない」ということです。

この東京都市大学等々力中学校・高等学校で学んだ精神と学力と、そして仲間の力を信じ、皆さんのが今後の輝かしい活躍を心から期待しています。

保護者の皆様にはこれまで学校のために様々な局面でご支援ご協力を賜り、ありがとうございました。どんな時も常に暖かく学校を見守り、まさに後方から応援して下ったことは感謝に堪えません。卒業後も本校とのご縁が切れるわけではありません。今後とも学校の発展のためにご支援ご忠告等、賜れば幸いでございます。

お子様の今後の活躍を私たち教職員も応援しております。

17歳の今だから出会えたこと



入学

校門の桜が満開のなか、沢山の希望と僅かな不安を抱きながら、この東京都市大学等々力中学高校の一員となりました。



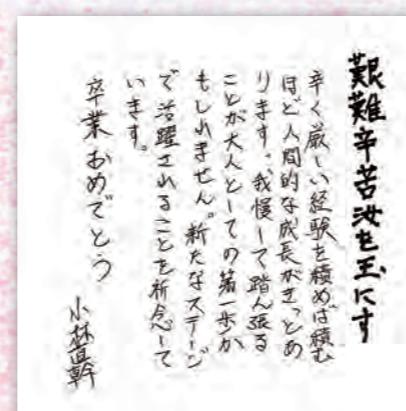
お世話になった先生方から

君たちに送る色紙

卒業おめでとう

私の座右の銘を皆さん
に贈ります。
“第一義(義ヲ第一トス)”

宮内伸人



宮内伸人先生

日々是 精進也

言葉を捨て
如何に日々精進もあれば
君の人生の価値もまた
日々の積み重ねの結果が現れる
岩城裕亮

問題を解くことは重要である。
しかし、問題を発見することは、
もとより重要である。

(秋山仁：數学者)

箱庭から広い世界へようこそ。
ニニヤニ先ほ一社会人として
歓迎します!!

祝卒業。 貫田秀克

夢叶うまで
挑戦!

小林直幹先生

高3-1 岩城 裕亮先生

高3-2 貫田 秀克先生

高3-3 廣田 悠人先生